

仕事は五感を総動員して 集中とリズムでこなす

仕事に合わせて金型を付け替えてプレスする

世田谷地域

北沢地域

玉川地域

砧地域

烏山地域

小学生の頃から、父親のそばで仕事を手伝っていたという代表富谷浩さん。親会社が倒産するという一大事に、本格的に家業を手伝うようになり、以来プレス加工ひと筋で仕事を続けてきました。

身体全体で覚えてきた仕事ぶりはまさに職人肌、プレスする時のちょっとした音の差で、材料の厚みが100分の1ミリ違ってわかるそうです。機械の調子も作業音で大体わかります。仕事のリズムも大切で、材料を取ってプレスして完成品を外すという一連の作業の流れが良いリズムを刻む時は、納得のいく製品ができる。電話も来客も断りたいほどの高い集中力が、製品のクオリティに反映します。

大量、大至急の注文に対応するためには、土日も返上して夜中まで作業をすることもあり、精度を保つ精神力と数量をこなす体力の両方が必要なハードな仕事です。しかし忙しいときの方が緊張感があって良い仕事ができる、と語る富谷さんです。



ここがすごい!! 👍

お客さまはOKでも 自分が気に入らなければやり直す

仕事を受けた時は、まず頭の中に納品する製品の完成イメージを作り上げます。そして感覚を研ぎ澄ませ、理想の完成品に近づくよう仕事を進めます。完成イメージに届かない時は、たとえそれがわずかな差であって、お客様にとっては許容範囲のものであったとしても、原因を徹底的に究明し自分が納得するまでやり直します。すべての作業をひとりでこなす富谷さんからこそ可能な、仕事へのこだわりです。



富谷製作所

www.hataya-seisakujo.com

代表者 富谷 浩
所在地 世田谷区等々力7-24-6
設立 昭和32年(1957年)
主な事業 プレスによる精密金属加工
連絡先 ☎03-3703-0141



金型を見れば仕事の難易度がわかる。摩耗した金型は研磨し直す

VOICE 🗣️

うまくいかない時は しばらく放っておく

仕事がかまくら「だめだ」という時は、しばらくそのままにしておきます。そうすると別の仕事をしている時にアイデアがひらめく。やっぱりだめなこともあるが、ほとんど最後には成功します。気が乗らない時にだったら続けるより、気分転換すると前向きになれます。



富谷浩代表